

旬な現場～若手技術者の紹介～

平成26年度国営公園環境楽園地区施設整備工事

～老朽化した擬岩を補強し安全な公園をつくる～

発注者：木曾川上流河川事務所

受注者：大興建設株式会社



2003年入社

岩堀 佑治

◆建設業に入った動機

昔からモノづくりが好きで、特に「いつまでも目に見える形で残るもの」が作れるこの建設業に入りたいと思いました。

◆仕事のやりがい

一つとして同じ条件の現場はなく、今でも常にわからないことや新しい発見が溢れていて、それらを経験し積み重ねていくことで自分が成長していくことに、とてもやりがいを感じています。

◆建設業入職を希望する若者へのメッセージ

当時入社一年目の私は、河川の護岸工事において、次第に構造物が出来ていく様を目の当たりにして、自分の仕事の成果が目で見える形で実感できて、胸が高鳴ったことを今でもはっきりと覚えています。

工事では様々な問題が起こりますが、それら乗り越えて最後に無事工事が完成した時の充実感は忘れることができません。こうした業績一つ一つが老後になって自分の人生を振り返った時の宝物になると思います。



◆工事概要

木曾三川公園環境楽園内の老朽化した「擬岩」の内部に発泡ウレタンを注入して補強する工事です。

擬岩といっても一見ただけでは本物の岩にしか見えないすばらしい出来なので、いかにして現状の景観を守るかも大変重要です。

